

なすまち

議会だより

CONGRESS NEWSLETTER NASU TOWN

2025

2

No.175



もくじ

中学生議会・高校生議会	2
政策提言書を提出	4
審議議案と賛否状況	6
委員会代表質問・一般質問	8
委員会活動	14
追跡レポート	18
議員見聞録	20

Photo 那須みふじ幼稚園



中学生議会を開催しました！

10月4日(金)に町立中学校の3年生が、プレゼンテーション方式で「中学生が考える魅力ある那須町」を町議会に提案しました。

プレゼンテーションのテーマ	学校名	生徒名	
未来の那須町 ～便利で未来的な街～	中央	かんの たいが 菅野 泰我さん	いまかわ よしひろ 今川 吉大さん
魅力的な町にする私たちができること	那須	うすい こはる 薄井 小春さん ひらやま なつみ 平山 夏光さん	あきもと さちか 秋元 桜愛さん
新しい発想で那須町を観光日本一に！	中央	きくち ももな 菊地 桃那さん	きくち りゅうのすけ 菊地 竜之介さん
那須町のイベントを活性化させるために	那須	ひらやま けい 平山 慶さん こさか ゆうと 小坂 優斗さん	ごとう りく 後藤 凜空さん
活気あふれる那須町 ～人生100年生きゆくために～	中央	たかねざわ りんのすけ 高根澤 凜ノ介さん	たかねざわ あい 高根澤 葵さん

※学校名の「中央」は「那須中央中学校」、「那須」は「那須中学校」の略です。



傍聴者^(※)からいただいた感想を一部紹介します。(原文のまま)

※役場内傍聴席での傍聴者及び学校内でオンライン傍聴した中学生

プレゼンターに一言！

○那須町の課題について考え、対策までしっかりと考えられていますすごかったです。

○堂々と発表している姿に、頼もしさを感じました。準備は大変だったでしょうが、傍聴する私たちも、提案に真剣に向き合うことができました。この機会を、今後の学校生活に活かしてほしいと思います。お疲れ様でした。

中学生議会全般についての意見

○中学生にとって、このような機会があることが素晴らしいと思います。地元の活性化について、中学生の柔軟な意見を聞くことができ良かったです。また、生徒にとっても自信につながる活動だと思います。

高校生議会を開催しました！

12月19日(木)に県立那須高等学校の生徒が、プレゼンテーション方式で「那須高校の教育活動を通して見えた地域の課題」を町議会に提案しました。

プレゼンテーションのテーマ	学年	生徒名	
『那須まち人物図鑑』を通して見えた 那須町の課題	3年	さとう しゅんたい 佐藤 舜大さん	むろい こうた 室井 孝太さん
地域ボランティアを通して見えた 那須町の課題	3年	はしもと かな 橋本 緩菜さん	すどう みつき 須藤 実月さん
小規模校サミットを通して見えた 那須町の課題	3年	おおたけ るね 大竹 流音さん	いしだ よしの 石田 恵埜さん
文化祭を通して見えた 那須町の課題	1年	さとう いずみ 佐藤 泉水さん	すずき りおん 鈴木 璃音さん
リゾート観光科での地域実習を通して見えた 那須町の課題	3年	さとう あい 佐藤 亜衣さん	たての りな 館野 璃菜さん



傍聴者^(※)からいただいた感想を一部紹介します。(原文のまま)

※役場内傍聴席での傍聴者

今回、傍聴されて気づいた点がございましたらご記入ください。

○那須高校の課題は那須町の課題だとの発言にとてな納得ができました。一つの高校の存続問題だけではなく、那須町の未来も大きく関係する課題であると認識しました。

プレゼンターに一言！

○今回の傍聴を通して改めて那須町の課題を再認識させてもらいました。高校を卒業しても何らかの形で那須町とのかかわりを持ち続けてもらえると嬉しいです。

高校生議会全般についての意見

○ぜひとも継続して開催してください。



次ページは

政策提言書を提出

令和6年度政策提言書を町へ提出！

持続可能なまちづくりのため、町政の様々な課題の解決に向けた政策を立案し、政策提言書として町へ提出しました。

政策提言書の詳細はこちらから



令和6年度政策提言書の内容

町有財産の有効活用について

課題 町民の意見を参考にしてスピード感をもった町有財産の有効活用・開発に取り組めていない。

提言 ・町民の声を聴き、酪農振興に寄与してきた共同利用模範牧場の土地利用計画を進めること。
・地元住民の声を参考に、旧立正校成会の土地建物の利用計画を進めること。



共同利用模範牧場



黒田原まちなか広場（旧立正校成会跡地）

自主防災組織の設立について

課題 町は自主防災組織の設立を呼びかけてはいるが、設立率は低い。

提言 町民の理解促進を図るとともに、全自治会で設立できるよう取り組むこと。

地域の活性化について（IT企業誘致の促進）

課題 人口減少や高齢化による働き手不足と若者が求める職種がない。

提言 IT企業は空き物件でも誘致可能なため、空き家整備を推進するとともに県と連携しIT企業誘致に取り組むこと。

特殊詐欺の防止について

課題 特殊詐欺による財産の損失や詐欺に加担してしまう若者が増えている。

提言 啓蒙により関与しない意識の向上と特殊詐欺対策電話機購入補助金制度などの防止策を拡充すること。

観光振興について

課題 道の駅の役割として、地元産品のブランド力向上と安定供給、情報発信が必要。

提言

- ・リアルタイムで町の魅力を伝え年間を通じて訪問者数の確保に努めること。
- ・町内道の駅と地元生産者が連携し、年間を通じ安定的な地元生産品の提供によるリピーター増を図ること。



令和6年7月にオープンした那須ロイヤル高原マルシェ

奨学金について

課題 給付型奨学金の給付期間が寄付財源のみで終了するため、進学をめざす学生への継続的な支援が出来ない。

提言 財源確保に努め制度を延伸すること。また、給付人数を増やすことも検討すること。

不登校について

課題 様々な要因により不登校となる児童生徒が多くいるため、不登校を未然に防ぐ必要がある。

提言 不登校傾向の児童生徒が相談しやすい体制をつくるため、スクールソーシャルワーカーや作業療法士の増員を求める。

脱炭素社会に向けた取組みについて

課題 二酸化炭素排出量削減を加速させるため、町民への再生可能エネルギー支援に取り組む必要がある。

提言 新築家屋だけでなく既存住宅等にも太陽光発電設備設置の負担軽減となる助成金制度を創設すること。

第6回定例会 11月29日～12月11日

上程された全議案は、全員賛成で可決・承認されました。

議案番号	上程議案・概要
議案第1号	令和6年度那須町一般会計補正予算（第4号）の専決処分について 総額 160億3,080万円 補正額 1,690万円増額 10月9日付けで衆議院が解散し、10月27日に衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が執行されることとなったため、これらに要する経費。
議案第2号	令和6年度那須町一般会計補正予算第5号の専決処分について 総額 160億5,180万円 補正額 2,100万円増額 8月24日、25日の降雨により被災した農地及び農業用施設の復旧を図るため、これらに要する経費。
議案第3号	那須町ゆめみらい応援給付金の給付に関する条例の制定について 寄付金を活用し、大学等に進学する本町の子どもたちへの給付を行うため本条例を制定。年額100万円を大学等の正規の修学年限の終期まで支援するもので、寄付金の範囲内で実施。
議員案第1号	那須町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について 地方自治法の一部を改正する法律により、那須町議会議員個人として町に対して年間300万円までの請負が可能になったため、議員個人による請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、那須町議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定。
議案第4号	農地及び農業用施設の災害応急工事計画について 令和6年8月24日から25日に発生した豪雨災害に係る農地及び農業用施設災害復旧工事に関する応急工事計画。
議案第5号	町道路線の認定について 大深堀西線が主要地方道那須西郷線の改良工事により路線が変更されたことに伴い、旧路線について移管を受ける予定であるため、町道路線として認定する。
議案第6号	町道路線の変更について 小島・漆塚線は、小島橋左岸側から小島交差点間において土地改良及び県道整備が行われ、認定時と現況が大きく異なっていることから起点を変更する。なお、終点は、県道の名称が変更となったことから、変更する。
議案第7号	令和6年度那須町一般会計補正予算（第6号）について 総額 164億4,050万円 補正額 3億8,870万円増額 【主な内容】・障害者福祉費 1億2,722万円 ・すこやかこども基金積立金 8,277万円
議案第8号	令和6年度那須町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について 総額 35億8,430万円 補正額 4,470万円増額 【主な内容】国民健康保険財政調整基金積立金 3,637万円
議案第9号	令和6年度那須町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について 総額 4億9,780万円 補正額 50万円増額 疾病予防費 50万円

議案番号	上程議案・概要
議案第10号	令和6年度那須町介護保険特別会計補正予算（第2号）について 総額 32億320万円 補正額 1億4,810万円増額 【主な内容】・国県支出金過年度分返還金 7,880万円 ・保険給付費 5,490万円
議案第11号	令和6年度那須町水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分について 資本的支出 7億4,746万円 補正額 2億円増額
議案第12号	工事請負契約の変更について 東町・西山線（三井橋）橋梁補修工事に係る工事請負契約の変更。

陳情審査結果

受理年月日	件 名	陳情者氏名	結 果
令和6年11月14日	保管期限が定まっていない「汚染土壌の埋立」に関する陳情書	除染土集約を考える会 代表 石郷岡 万一良	不採択
概 要 集約地がどこであるかにかかわらず設計・施工について次の事項を実施されるよう要望する。 1 除去土壌からの放射性物質の漏出を防ぐため保管施設は鉄筋コンクリート構造とし防水処理を行い、屋根を設置する事 2 雨水等により発生した汚染水は、モニタリング装置を設置し常時計測するとともに、汚染水は放射能を除去後放流する設備とする事、またその計測データは公表する事 3 工事発注仕様書の詳細について公表する事 【討 論】 ◇「不採択」とする意見 国のガイドラインに則って進める上で、ガイドラインに記載されている設備以外は国の補助金が出ず、全て町の持ち出しになる。安全性を考慮した国のガイドラインに則って進めることに問題はない。この陳情では、どの発注仕様書を指しているのか判断が難しい。また、詳細に発注書を公開すると、競争入札前に公開することになり、単価等の金額情報も含まれることから、競争入札にも影響する可能性がある。 ◇「採択」とする意見 陳情者が、町に対して再三にわたり全町民を対象とした説明会を開き、町民の意見を聞き、町民が安心できる場所と方法で実施してほしいと要望してきたが聞き入れてもらえなかったと訴えている。町は国の方針で工事するから安心だというのが、説明を受けなくて安全だと信じなさいと言っているようなもの。工事計画決定や入札が終わってから公開してはどうかなどの意見が出たが、終わってからでは意味がない。			

賛否状況（○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長（室井議員）は賛否同数の場合にのみ加わります。）

陳情件名	増山	小山田	三浦	平山	齋藤	田村	関	木村	井上	薄井	池澤	小野	室井
保管期限が定まっていない「汚染土壌の埋立」に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	－



さいとう のりひと
齋藤 則人 議員



動画配信が
見られます

町道整備について

質問 整備の優先順位は

町 ▶ 費用対効果などを総合的に評価

問 町道整備の優先順位はどのように決めているのか。

答 【建設課長】 危険性など緊急性のある場合や生活道路としての利便性、また、費用対効果や計画との連携など、総合的に評価し順位を決定している。

問 今の予算で必要とされる道路整備が推進できるのか。

答 【建設課長】 総延長604kmの町道等を管理しており、効率的合理的な整備に取り組んでいる。交付金等を活用し財源確保に努めたい。

問 (仮称)那珂川橋開通後に菱喰内工業団地や国道4号に通じる新たな道路整備に取り組む考えは。

答 【建設課長】 生活・産業拠点と交通ネットワークを形成し、土地利用促進などを図るため調査研究を進めていく。



開通が待たれる（仮称）那珂川橋

那須高原友愛の森再整備について

質問 なすとらんのコンセプトは

町 ▶ 那須の食を発信できるレストラン

問 なすとらんのコンセプトは。

答 【町長】 那須の四季、風情を感じながら、那須でしか食べることのできない新鮮な野菜や那須和牛など、那須の食を発信できるレストラン。

問 直売所の野菜の品切れ改善は。

答 【農林振興課長】 生産者は増加しているが、品切れが発生している。更なる生産者の増加が必要であり、産直部会へ加入しやすい仕組みづくりなど、那須未来株式会社（業務委託先）とともに考えていく。

問 再整備後の道の駅那須高原友愛の森管理体制について、指定管理方式に変更する考えは。

答 【観光商工課長】 指定管理者制度の活用も選択肢の一つとして検討したい。



建設中の「なすとらん」

■ほかに「幹線道路周辺の開発」についての質問もしています。



たむら なみゆき
田村 浪行 議員



動画配信が
見られます

地域医療について

質問 オンライン移動診療車導入の考えは

町 ▶ 現時点では検討していない

問 移動が困難な地域への課題解決策として、高齢者診察にオンライン移動診療車導入の考えは。

答 【保健福祉課長】町として対応は検討していないが、今後、有効な対策について医師会等の指導助言をいただきながら、調査研究をしていきたい。

問 オンライン診療活用のため、マイナンバーカード普及の取組みは。

答 【住民生活課長】普及の取組みとしては、職員が手続きに必要な写真撮影、電子証明書更新手続きなどの支援を行っている。

問 マイナ保険証の普及によるメリットは。

答 【住民生活課長】厚生労働省からは、医療費の節約、より良い医療の提供、高額医療の限度額を超えた場合の支払いを手続きなしに免除できるという点が示されている。

不登校について

質問 学びの多様化学校創設の考えは

町 ▶ 近年の少子化を考え創設は困難

問 教育相談室への児童生徒の送迎は基本的には家族。ただ、様々な状況を鑑みて送迎体制作りは必要であるが、町の考えは。

答 【学校教育課長】児童生徒の体調や精神状態、家庭の事情により、保護者の送迎が難しい状況も認識している。有料のファミリーサポート事業を一つの移動手段として、利用を検討していただきたい。

問 不登校児童生徒の学びの場をさらに多様化する必要があると思うが、町の考えは。

答 【学校教育課長】試行的ではあるが、メタバース教育相談室^{※1}を開始している。多様化する学びの場の一つとして実証していく。

※1…インターネット上の仮想空間「メタバース」を活用して開設される教育相談室

問 可能性を開く教育の場として、学びの多様化学校^{※2}創設の考えは。

答 【教育長】有効な支援対策の1つであるが、近年の少子化を考えると創設は困難。民間施設と連携しながら学びの多様化への対応を検討。

※2…文部科学大臣が指定する不登校児童生徒を対象とする特別な教育課程を編成して教育を実施する学校



教育相談室「こもれび」



おの ようこ
小野 曜子 議員



動画配信が見られます

学校給食の無償化について

質問 無償化の実現は

町 ▶ 無償化は難しい

問 町予算から見た給食費保護者負担軽減率は。

答 【学校教育課長】 給食費の町負担額は約1,500万円。保護者負担軽減は小学生一人あたり年額1万2,000円で軽減率約21%、中学生も年額1万2,000円で軽減率約19%である。

問 国の交付金を利用するなどして、全県に先駆けて町として無償化を実現する考えは。

答 【学校教育課長】 物価高騰対策支援として、保護者負担の現状維持に努めているが、交付金を活用する予定はなく、現状では無償化実施は難しい。

問 給食食材費が値上がりしている。保護者負担に転嫁しないように県へ働きかける考えは。

答 【学校教育課長】 昨年度に続き給食費の増加分は町が負担している。これらの取組みを今後も継続したい。国、県の動向は注視していきたい。



給食調理室の様子

防災について

質問 避難所の発電機を増やす考えは

町 ▶ 今後増設していく予定

問 災害対策として能登半島地震、豪雨災害を教訓とすべき課題は。

答 【町長】 災害対応に関する人手不足、道路の損壊等による緊急車両の到着の遅延、その後の停電、断水の長期化が挙げられる。そのため、これらの課題について関係自治体、および民間事業者等を含め、50団体と防災協定を締結し早期対応に備えている。

問 停電時に避難所で電源の確保をするために、今後、発電機や蓄電機器を増やす考えは。

答 【総務課長】 現在、発電機を17機、蓄電機器は13機保有しており今後も増設していく予定。

問 災害時のトイレ対策は。

答 【総務課長】 指定避難所には全てトイレが整備されているが、多くの方の避難が予想されるため、簡易トイレ等を今後も追加整備していく予定。



町が所有する発電機と蓄電機器

■ほかに「地域公共交通」についての質問もしています。

クマだけでなく
ハクビシンなどの被害にも注視



ひらやま てるたか
平山 輝貴 議員



動画配信が
見られます

一般質問

ツキノワグマの対策について

質問 予防捕獲について町の見解は

町 ▶ 個体群減少を鑑み慎重に判断する

問 予防捕獲について町の見解は。

答 【農林振興課長】 地域個体群の減少につながる可能性があるため、慎重に判断する必要があると考えている。

問 鳥獣被害防止計画では「被害が発生したときのみ捕獲を実施する」とされているが、被害とはどのような被害をいうのか。

答 【農林振興課長】 人的被害、農作物や畜産物への食害だけでなく、生活圏に出てきてしまった場合も被害という位置付けになる。

問 被害が発生したときの対応は。

答 【農林振興課長】 現地調査の上、猟友会と警察によるパトロール、注意喚起の看板設置、広報車による地域への周知、地域住民一軒一軒へ注意喚起・誘発防止のチラシ配布、移動経路と思われる箇所へ箱わなの設置など実施している。



鳥獣被害を受けた農作物

温暖化防止実行計画の進捗について

質問 木質バイオマス発電実証事業の進捗は

町 ▶ 事業開始は来年度を想定

問 国の自治体排出量カルテ^{※1}を確認すると、産業部門の削減率が他の分野と比較すると低い。今後の対策は。

答 【環境課長】 エネルギー消費を抑えるための設備導入などが挙げられるが、資金調達が伴うため対策が進みにくいと言われている。国や県、他市町の取組みを参考に調査研究していく。

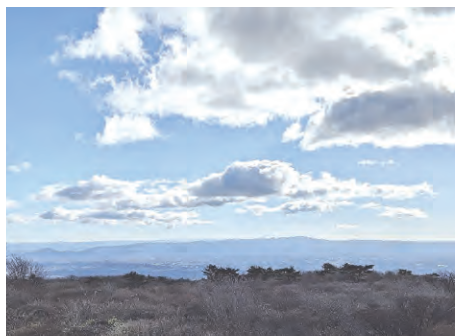
※1…都道府県・市区町村の部門別CO₂排出量の現況推計等の時系列データをわかりやすく可視化した資料

問 木質バイオマス発電実証事業の進捗は。

答 【環境課長】 現在、技術基準適合検査中。事業開始は来年度を想定している。

問 公共施設の自立型分散エネルギー設備等導入事業の進捗は。

答 【環境課長】 町が直接導入する自己所有型以外にもリースなど第三者所有型による導入手法もある。メリット、デメリットを比較検討し、導入に向け調査の方を進めていく。



未来に残したい那須町の広大な自然

空き店舗をお持ちの方は
バンクへの登録を！



きむら しゅういち
木村 秀一 議員



空き店舗の利活用促進について

質問 空き店舗対策の取組み状況は

町 ▶ 空き店舗バンクの運用を開始

問 店主の高齢化が進み、事業承継が進まないことで、空き店舗は今後も増加していくことが懸念される。空き店舗対策の取組み状況は。

答 【観光商工課長】 令和6年4月に空き店舗バンク設置要綱を制定し運用を開始した。空き店舗等所有者の情報を収集し、バンクへの登録を進めている。

問 現在、空き店舗バンク登録件数は4件。効果的な周知の方法など登録件数を増やすための取組みは。

答 【観光商工課長】 空き店舗活用や創業支援事業を担当する地域おこし協力隊を採用し、情報収集や登録の周知を行っている。

問 町の融資制度は、運転資金と設備資金を対象としているが、新たに創業支援金を追加する考えは。

答 【観光商工課長】 那須町中小企業振興資金融資制度への創業支援金の導入に向けて、商工会や金融機関等と検討を進めたい。



シャッターが閉じたままの空き店舗

中央運動公園の新たな整備について

質問 広域連携で使える競技場の整備は

町 ▶ 公共施設の総合利用も検討

問 中央運動公園の南側の砂利駐車場は、水たまりができるほど傷んでいるが、舗装を含めた整備は。

答 【教育長】 全面的に舗装を整備する考えはないが、水たまりの箇所には砂利を敷くなど定期的な補修整備は行っていく。



水たまりの多い南側駐車場

問 競い合うことよりも楽しむことを重視し、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにするニュースポーツを楽しめる環境整備の考えは。

答 【企画政策課長】 現時点では整備をする考えはないが、今後の各競技需要を見極めながら検討していく。

問 自治体で大きな球技場や総合体育館等を建設し、維持管理していくことは容易ではない。広域連携で使える競技場を目指す考えは。

答 【教育長】 那須地域定住自立圏^{※1}では、各市町が保有する公共施設の総合利用についても検討している。

※1…那須塩原市、大田原市、那珂川町、那須町の4市町で構成される。中心市と近隣市町村が連携協力し、地域内での生活機能確保し、定住人口の増加を図るもの。

■ほかに「農業支援策」についての質問もしています。

令和6年 第6回定例会 傍聴者(一般)アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。
アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。

他のご意見等はこちらから



開催日	傍聴者(人)	回答者(人)	回収率(%)
11月29日	0	0	0.00
12月 2日	13	11	84.62
12月11日	4	2	50.00
合 計	17	13	76.47

議会を傍聴されて気づいた点、ご意見をいただきました。

回 答

とても厳粛な雰囲気で行われていた感じです。
今回は質問通告に対する応答だったので今後討論の場を傍聴してみたい。

一般質問の場面だけでなく、様々な
会議が公開となっていますので、議
員の活動を知る上でもぜひ御覧いた
だきたく思います。

町の回答がちぐはぐ的外れなものが多い。具体的かつ質問に
的確な回答をお願いします。
※これは議員各位というより町側の姿勢の問題かもしれません。

議員側の質問にも課題があるかと考
えています。具体的かつ明確な回答を
引き出せる質問を心がけていきます。

調査・研究との町からの回答へのフォローの考えは？定期的
公開する仕組みなど必要ではないでしょうか？（スピード感
という発言もありましたが、いつまでにやるのかなど）行政
の監視機能として充実させていただきたい。

一般質問に対する答弁の内容が、ど
のように実行されているのか、質問
をしただけで終わらず、事後の追跡
の質問などに努めていきます。

「～考えは？」「～どう見るか？」など資料（質問）になっている
が「こうあるべき」だが町としては…など、町民代表としての
考えと町側の考えを出しあって議論、方向性を見せてほしい。
※質問で何を求めているのか、回答を引き出したいのか不明
なものがある。

質問における課題や意義を明確に
し、執行部との討論が十分なもの
になるよう改善してまいります。

町民が陳情している問題について、もっと各議員は勉強が必
要、特に町民の生活・健康等に必要な知識が欠けている。

陳情の審査については、各議員が調
査研究のうえ、会議に臨んでいます。

議会又は議員について、ご意見をいただきました。

回 答

質疑応答の結果について、どの様に反映されているのか？
提案に対し具体的にNO、YESなど分かりやすく周知してもら
いたい。

行政に対する議会の働きかけがど
のように実行されていくのか、なぜ実行
されないのか注視していくとともに、
議会活動の検証を行ってまいります。

議員発言の「わかりやすく幅広く告知」は、いつも町からの情
報発信課題となるものだと思います。行政全体にかかわる体制
として具体的かつスピード感を持って構築をお願いします。

議会としましても、町の情報発信につ
いて、町広報や町ホームページなどで広
く告知できるよう提案していきます。

ゆっくり、大きな声でしゃべってほしい、聞き取りにくい。

全議員に周知し改善していきます。

総務産業常任委員会の活動報告

9/25

所管事務調査 1 建設課ヒアリング

- ・町道整備について、道路脇の枝の伐採や看板設置状況
- ・町道清掃の町民負担軽減について
- ・河川工事の状況

所感 町道整備は、地域住民の利便性、防災強化、観光振興といった多岐にわたる分野と関わる。整備計画立案をする事により町民からの多様なニーズに応え改善を進める事が求められている。

9/26

所管事務調査 2 観光商工課ヒアリング

- ・道の駅那須高原友愛の森直売所の運営と直売品の販売状況
- ・なすとらんのメニュー開発について

所感 道の駅那須高原友愛の森の運営や販売の状況が地域活性に大きな影響を及ぼす。なすとらんのメニュー開発を含め、直売所の販売戦略の見直しと改善が求められている。



地元の野菜を使ったメニュー

民生文教常任委員会の活動報告

10/18

所管事務調査 那須町教育委員会

学校部活動地域移行推進について

「部活動地域移行に向けた取組み」「部活動地域移行に係る考え方」「部活動の状況」「部活動地域移行に向けた方向性」などについて説明を受けた後、意見交換を行った。

所感 部活動の地域移行には、指導者の確保や受け皿の整備、運営に要する継続的な予算の確保など様々な課題がある。地域移行後も子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するためには、これらの課題解決が必要である。また、保護者などが抱える地域移行に対する不安や疑問を解消するために、丁寧な説明や情報提供を行う必要があると感じた。



部活動で汗を流す生徒

議会運営委員会行政視察報告

10/10～11 行政視察 宮城県柴田町・蔵王町

柴田町 調査内容 政策提言・議員間討議について

所感 柴田町議会では議員間討議でワールドカフェ※1方式を採用している。実際に体験し、各議員の理解を深める手段として有効であると感じた。今後、当議会でもワールドカフェの導入について検討していきたい。

※1…ワールドカフェ：少人数のグループで自由に自分の意見を出し合えるワークショップの手法。



ワールドカフェを体験

蔵王町 調査内容 議会報告会について

所感 蔵王町議会では予算・決算に合わせた5月と11月に議会報告会を開催している。当議会でも報告会の開催時期について検討してはどうかと感じた。

また、女性模擬議会を開催したことで初の女性議員が誕生した。政治への関心を高め参画を促すような活動についても検討の余地があると感じた。

行政視察等を受入れました

10/3

栃木県益子町議会

消滅可能性自治体からの脱却について

10/17

栃木県野木町議会 文教民生常任委員会

那須町コミュニティスクールの概要について

10/8

新潟県見附市議会 議会運営委員会

議会運営全般について

10/17

静岡県下田市議会

観光について

10/15

山形県尾花沢市議会 議会だより編集委員会

議会だよりの編集等について

11/8

山梨県昭和町議会 総務教育常任委員会

議会改革について

10/16

群馬県下仁田町議会 社会経済常任委員会

生活支援体制整備事業の概要について

11/11

福島県田村市議会 広報委員会

議会広報紙について



次ページは

議員研修

● 那須町議会

○ ペーパーレス会議システム操作研修

10月24日 全員協議会室

役場で使用するペーパーレス会議システムの入れ替えに伴い、導入業者である「株式会社栃木シンコー」「キッセイコムテック株式会社」から操作方法等を学んだ。



○ 宿泊税について

10月24日 全員協議会室

町執行部の職員を講師とし、宿泊税の基礎知識や他自治体の導入事例について学んだ。

○ 那須町の観光振興施策／DMOの事業内容について

11月22日 全員協議会室

那須町観光協会会長 阿久津千陽 氏、観光商工課長を講師とし、観光振興施策の現状・DMOの取組みについて学んだ。

● 市町村議会議長会勉強会『令和6年能登半島地震にともなう議会の対応』

11月12日 那須地区広域行政事務組合研修センター

講師：石川県珠州市議会議長 番匠雅典 氏

- 内容
- ・能登半島地震の被害状況
 - ・復旧復興と避難者の現状
 - ・今後の復興と議会の対応 など

所感 災害時における議会の役割、地域住民の日頃からの関係性の構築や自主防災組織の重要性をリアルに聞くことで、何をすべきかが明確になったように思う。また、参加議員の意見交換も行い、近隣自治体の防災における取組みの現状も共有することができた。

● 栃木県町村議会議員研修会『議員のなり手不足と議会改革』

11月19日 栃木県総合文化センター小ホール

講師：東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村和徳 氏

- 内容
- ・地方議員に対する誤解
 - ・立候補の障壁とは
 - ・議会改革の重要性 など

所感 自治体の事例などを参考に、わかりやすく説明されていた。議会や議員に対する先入観や認識を払拭するには、広報等の情報発信が重要であり、社会の変化に対応し、改革を進めていくことが必要だと再認識した。



町民の声



あらかわ かすみ
新川 夏澄さん(大平)

2011年、私は自給自足的な暮らしがしたいという想いで、那須の実家に東京からUターンしてきました。代々農業をしてきたご先祖様たちは、口に入るものは何でも育てて手づくりしてきました。都会では素材は全て買わないといけませんが、ここでは草木花や農産物等を土から産み出す事ができます。最近はドライフラワーでリース等も作っていますが、苗木を植え、育て、採取し、乾燥させ、リース等に仕立て、販売し、お客様がお部屋に飾りまた長い時間楽しんでもらえると思うと、時間はかかりますが、その分豊かな気持ちになり喜びがあります。人が自然から産み出す創造的な手仕事とその喜びは、時代を超えて続いていくのではと感じています。

3月 定例会の予定 2月27日(木)～3月17日(月)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27	28	3/1
		臨時議会		定例会 開 会	総括質疑	
2	3	4	5	6	7	8
		一般質問 (第1日)	一般質問 (第2日)	常 任 委員会	常 任 委員会	
9	10	11	12	13	14	15
		予算審査 特別委員会	予算審査 特別委員会	常 任 委員会		
16	17	18	19	20	21	22
	定例会 最終日					

議員全員協議会 傍聴のご案内(2月から4月)

2月19日(水)、3月26日(水)、4月24日(木)

時間：9時から

※開催日時を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

議会のスケジュールは、
町ホームページ「那須町
議会カレンダー」から確
認できます。



12月本会議をインターネッ
トで動画配信しています。

スマートフォンやタブレット端末から
「なまち 議会だより」を読むことができます。



TOCHIGI ebooks
(栃木イーブックス)



マチイロ



音訳版

今号は
3月中旬頃
掲載予定



議会傍聴の手話通訳について

傍聴希望日の7日前までに電話、もし
くは下記の二次元コードから申し込み
ください。

☎ 0287(72)6926

※直前のお申し込みや、その他の状況に
よりご希望に沿えない場合があります。



表紙のことば

みんな一緒に仲良く
運動あそび。
からだを動かす大切
さを学んでいました。



編集後記

今号は現委員会メンバーで作る最後の議会だよりです。編集作業を終えた帰り道、少し感慨深い気持ちになりました。どうしたらもっと読んでもらえるか試行錯誤の日々でしたが、「あの企画おもしろかったよ。」「いつも読んでるよ。」などのお声が励みでした。今後も、もっと読みたくなる議会だよりを目指していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。(増山)

議員の寄付行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が金品などの物を贈る寄付、地域への催し物への寄付や差し入れることは禁止されています。

また、議員に対し、寄付を出すよう勧誘する、また要求することも禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

発行人 那須町議会議長 室井 高男
編 集 那須町議会広報特別委員会

〒329-3292

栃木県那須郡那須町大字寺子丙3番地13

☎ 0287(72)6926

THE・追跡レポート



町に政策提言や予算要望した結果、町がどう対応したのかを追跡する「THE・追跡レポート」。

令和5年度政策提言から「地球温暖化防止について」を追跡！

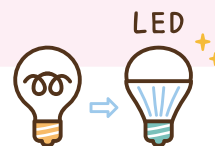
課題

ゼロカーボンシティ実現のためには町が率先して取り組む必要があるが、照明のLED化や電気自動車の導入など、十分な取組みがされていない。

町への提言

ESCO事業^{※1}等を活用し公共施設の省エネ化（LED照明）を段階的に行うこと。

※1…省エネルギー改修に係る全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業



町からの回答

町有施設の省エネルギー化（町有施設のLED化）については、一部の施設については完了しております。今後、未実施の施設や学校教育施設について順次取り組む予定ですが、財政負担が大きいことから、現在、国の補助事業やESCO事業などの活用、より効率的な実施方法等について調査・研究をしているところです。

今後は、具体的な手法が決定次第、段階的に取り組んでまいります。

追跡！

学校施設の照明をLEDに！

提言を受け、那須町学校施設LED照明器具賃借事業を実施。

この事業は、プロポーザル方式により事業者を決定するが、令和6年11月26日から公募が開始され、令和7年1月下旬には優先交渉権者との協議が実施された。



町立小中学校で順次工事が始まる

議会広報モニター会議 (令和6年10月29日)

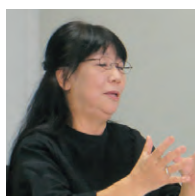


議会広報モニター5名の方に参加いただき、意見交換会を開催しました。

さまざまな意見やアイデアをいただき、ありがとうございました。今後の編集に活かしていきたいと思います。

意見等の一部を紹介します。

モニターとしての 議会だよりへのかかわり方について



◎ 現在の作業のボリュームや会議頻度はちょうど良い。

◎ 編集作業などにも参加してみたいが、回数が多いと参加できない。

◎ アンケート提出を忘れないよう、リマインドの連絡があると助かる。

◎ 情報共有をしやすい仕組みがあれば、モニターからも取材先の情報提供等ができるのでは。



新企画について

〈子ども向けのページ〉

◎ 実際に子どもたちに議会を体験してもらい、様子をレポートする記事なら親子で読んでくれるのでは。

◎ 写真が多いと良いと思う。

〈追跡レポート〉

◎ 経過を追うことは大事だし、知りたい。

◎ 毎号ではなくても載せてほしい。



その他

◎ 議員とモニターと一緒に作るページがあれば、モニター同士も交流できて、議会だよりをもっと身近に感じられると思う。

◎ 議会だよりを知ってもらうイベントの開催やイベントへの出展をしたらどうか。

この他にも、たくさんのアイデアが出て、楽しく有意義な時間となりました♪

レポート
第15弾

子ども第三の居場所「Apple Park」の巻

今回は、旧大同保育園を活用し11月9日に開所した子ども第三の居場所「Apple Park」をレポート！
学童保育だけではなく、子どもの「もう一つの居場所」として、生活面や学習面等、様々な面から子どもたちの安心や楽しさを生み出す工夫が詰まっている。



▲明るい雰囲気で過ごしやすい
メインルーム

メインルームの他、面談室や多目的室、シャワー室、厨房なども備えており、様々な体験に対応できる設備が整っている。旧大同保育園の建物を生かして、リノベーションされた室内は、壁や棚など所々に面影が残っている。

母親相談窓口を設け、子どもだけではなく、保護者のサポートも行っていく予定。



▲扉や棚はペンキを塗り、再利用！



▲多目的室は自主学習をしたり
宿泊時は布団を敷いてお泊り
部屋として利用



▲窓際には保護者が
見守るスペースも



絨毯が敷かれた図書室は絵本やぬいぐるみを置き、小さな子どもでも過ごしやすい工夫がされている。

Apple Park

■場所 高久甲6092番地3
(旧大同保育園)
■電話 0287-73-5483
(運営：一般社団法人 Apple Base)



一般社団法人 Apple Base 代表 磯 翔 氏いそ なつるのコメント
全ての子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所となるように、行政や地域と連携しながら、より良い形を目指していきたいです。

見聞 後記

保育園として使われていた施設が、形を変えてまた子どもたちのための場所として生まれ変わった。社会や地域の課題をしっかりと捉え、子どもや保護者に寄り添った施設が作られたことで、那須町の子育ての新たな可能性を感じた。

少子化が進む本町において、子どもたちのための事業はどうあるべきかを再確認させられた。学校や保護者だけではなく、地域が子どもを守り育てるために、密な連携をとることが大切。議会としてもできることを進めていきたい。